

小平市公共下水道事業に係る社会資本総合整備計画  
の事後評価について

説明資料

平成30年5月29日

小平市環境部下水道課

## 目 次

### 【小平市公共下水道事業に係る社会資本総合整備計画の事後評価について】

1. 小平市下水道プランと社会資本総合整備計画.....	1
(1) はじめに.....	1
(2) 小平市下水道プランについて.....	1
(3) 社会資本総合整備計画について.....	3
(4) 社会資本整備総合交付金（通常分）及び防災・安全交付金.....	3
2. 小平市下水道プランに係る社会資本総合整備計画.....	4
3. 社会資本総合整備計画の事後評価について.....	7
(1) 事後評価の要領.....	7
(2) 事後評価手法.....	7
(3) 事後評価の結果.....	8

## 1. 小平市下水道プランと社会資本総合整備計画

### (1) はじめに

下水道は、健全で快適な都市生活を営む上で欠かせない重要な都市基盤の一つであり、都市における水の循環を支え、汚水を浄化し、自然に戻すとともに、大地が吸収しきれない雨水を速やかに排除し、町を浸水から守る等の機能を果たしています。今後も快適な生活を続けていくために、下水道施設の維持管理に万全を期し、長寿命化による施設の再構築を図りながら、昨今の局地的大雨による浸水や地震といった災害への備えを行っていくなど、質の高いサービスを提供する必要があります。

### (2) 小平市下水道プランについて

小平市では、下水道事業をとりまく環境及び下水道が抱える課題を踏まえ、中・長期的な視点に立った今後の下水道事業のあり方（方向性）を示すことを目的として、下水道における総合的な計画「小平市下水道プラン」（計画期間：平成23年度～平成32年度）を平成22年度に策定しています。

また、平成27年度に計画期間の中間年を迎えたことから、5年間の「後期計画」について見直しを行い、「小平市下水道プラン後期計画」（計画期間：平成28年度～平成32年度）として公表しています。



図1-1 小平市下水道プラン（後期計画）

小平市下水道プランの基本理念「快適な生活環境を支える下水道」を実現するための基本方針及び後期計画における施策の体系を以下に示します。

小平市では、下水道プランの基本方針「II 安心して暮らせるまちづくり」のうち、「浸水対策」、「地震対策」、「施設の老朽化対策」の3事業を重点施策に位置付けています。これらの事業の実施にあたっては、膨大な費用を要しており、国の「社会資本整備総合交付金制度」により「社会資本整備総合計画」を作成し、国費の交付を受けています。



図1-2 小平市下水道プラン（後期計画）における施策体系（★重点施策）

### (3) 社会資本総合整備計画について

社会資本総合整備計画とは、地方公共団体が国からの交付金により事業を実施する場合に作成するものです。

社会資本総合整備計画は、計画の期間（おおむね 3～5 年）で実現しようとする目標や事業内容等を記載した計画書を作成し、国土交通省に提出します。また、計画期間の終了時には、目標値の実現状況等について事後評価を行い、国に報告するものとされています。

なお、事後評価の実現にあたっては、評価の透明性、客観性、公正さを確保するため、学識経験者等の第三者の意見を求めるものとされています。

### (4) 社会資本整備総合交付金（通常分）及び防災・安全交付金

社会資本整備総合交付金（通常分）は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を、ひとつの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として平成22年度に創設されました。

防災・安全交付金は、地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災の取組み、地域における総合的な生活空間の安全確保の取組みを集中的に支援するため、平成25年度に創設されました。

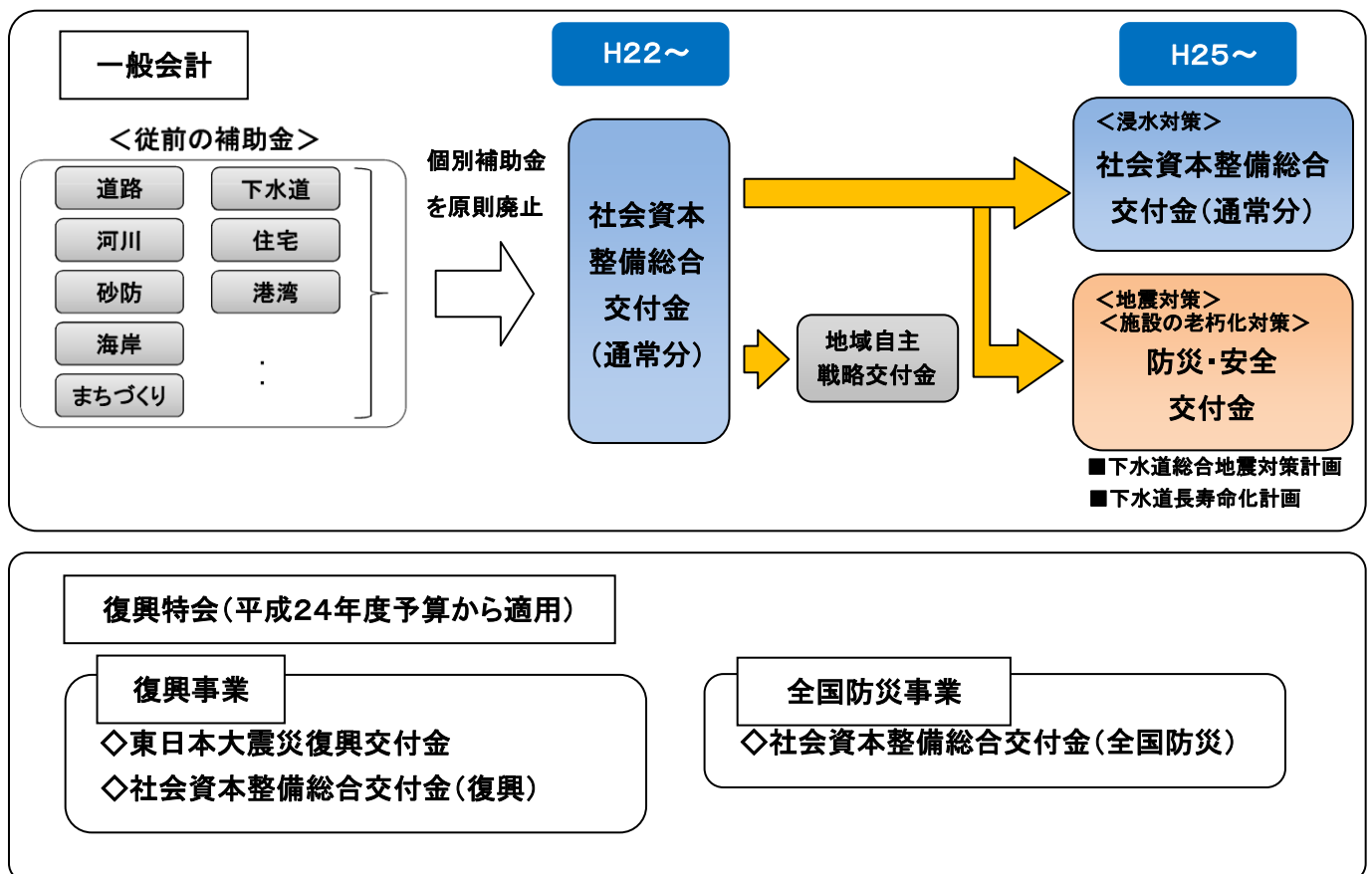


図 1 - 3 社会資本整備総合交付金（通常分）と防災・安全交付金

## 2. 小平市下水道プランに係る社会資本総合整備計画

小平市では、下水道プランの計画期間（平成23年度～平成32年度）において、6つの社会資本総合整備計画を作成し、事業を実施しています。【計画1】は平成26年度に完了し、【計画2】は平成23年度に完了しています。【計画3】、【計画4】は平成29年度に完了し、今回事業評価を国に報告する計画となります。

なお、【計画5】、【計画6】は平成30年度から平成32年度までとしています。

### 【計画1】＜社会資本整備総合交付金（通常分）＞

計画名称	安心して暮らせるまちづくり	計画期間	平成23年度～平成26年度（4年間）		
計画目標	下水道の整備による浸水被害の軽減、及び施設の地震対策・老朽化対策を行うことによって、市民が安心して暮らせる環境を目指す。				
成果目標	① 重要な管路に対する地震対策実施率の向上 ② マンホール蓋改築の実施 ③ 下水道による都市浸水対策達成率の向上	下水道プランと関連する事業	地震対策	施設の老朽化対策	浸水対策

### 【計画2】＜社会資本整備総合交付金（全国防災）＞

計画名称	重要な管きよの耐震化事業（復興基本方針関連（全国防災））	計画期間	平成23年度（1年間）	
計画目標	下水道施設の地震対策を行うことによって、市民が安心して暮らせる環境を目指す。			
成果目標	① 耐震上、重要な管路における小口径管きよの地震対策実施	下水道プランと関連する事業	地震対策	

### 【計画3】（今回事後評価）＜社会資本整備総合交付金（通常分）＞

計画名称	小平市公共下水道施設の整備	計画期間	平成26年度～平成29年度（4年間）	
計画目標	下水道整備により浸水被害の軽減を図ることによって、市民が安心して暮らせる環境を目指す。			
成果目標	① 下水道による都市浸水対策達成率の向上	下水道プランと関連する事業	浸水対策	

### 【計画4】（今回事後評価）＜防災・安全交付金＞

計画名称	小平市公共下水道施設の防災・安全対策	計画期間	平成26年度～平成29年度（4年間）		
計画目標	下水道施設の地震対策及び長寿命化対策を行うことにより、市民が安心して暮らせる環境を目指す。				
成果目標	① 重要な管路に対する地震対策実施率の向上 ② マンホールトイレ整備率の向上 ③ 鈴木処理分区における長寿命化対策率の向上 ④ 鈴木処理分区におけるマンホール蓋改築実施率の向上	下水道プランと関連する事業	地震対策	施設の老朽化対策	施設の老朽化対策

### 【計画5】＜防災・安全交付金＞

計画名称	下水道事業による小平市の安全・安心な暮らしの推進（防災・安全）（重点計画）	計画期間	平成30年度～平成32年度（3年間）	
計画目標	下水道整備による浸水被害対策及び下水道の地震対策を行うことにより、市民が安心して暮らせる環境づくりを目指す。			
成果目標	① 下水道による都市浸水対策達成率の向上 ② マンホールトイレ整備率の向上	下水道プランと関連する事業	浸水対策	地震対策

### 【計画6】＜防災・安全交付金＞

計画名称	小平市公共下水道の防災・安全対策（第2期）（防災・安全）	計画期間	平成30年度～平成32年度（3年間）	
計画目標	下水道施設の老朽化対策及び地震対策を行うことにより、市民が安心して暮らせる環境づくりを目指す。			
成果目標	①□ ストックマネジメント計画の作成（市全域の実施方針及び学園処理分区、喜平処理分区、上水南処理分区の一部における改築実施計画） ②□ 総合地震対策計画の策定、対象路線の耐震診断調査の実施	下水道プランと関連する事業	施設の老朽化対策	地震対策

【計画3】＜社会資本整備総合交付金（通常分）＞

社会資本総合整備計画事業評価書

平成30年 月 日

計画の名称	小平市公共下水道施設の整備										重点配分対象の該当											
計画の期間	平成26年度 ～ 平成29年度（4年間）			交付対象	小平市																	
計画の目標	下水道整備により浸水被害の軽減を図ることによって、市民が安心して暮らせる環境を目指す。																					
計画の成果目標（定量的指標）	下水道による都市浸水対策達成率を73.2%（H26当初）から74.0%（H29末）に増加させる。																					
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="3">下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（ha）（市域全域：2,046ha）</th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H26当初)</th> <th>中間目標値 (H28末)</th> <th>最終目標値 (H29末)</th> </tr> <tr> <td>(73%) 73%</td> <td>(74%) 74%</td> <td>(74%) 74%</td> </tr> </table>											下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（ha）（市域全域：2,046ha）	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H29末)	(73%) 73%	(74%) 74%	(74%) 74%
下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（ha）（市域全域：2,046ha）	定量的指標の現況値及び目標値			備考																		
	当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H29末)																			
	(73%) 73%	(74%) 74%	(74%) 74%																			
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	(390百万円) 386百万円	A	(369百万円) 367百万円	B	(0百万円) 0百万円	C	(21百万円) 19百万円	D	(0百万円) 0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)	(5.4%) 4.9%										
○事後評価の実施体制、実施時期																						
事後評価の実施体制	「小平市環境審議会」（学識経験者3名、事業者3名、市民公募5名、関係行政機関の職員1名、計12名）において実施							事後評価の実施時期	平成30年 月 日													
								公表の方法	市のホームページに掲載予定													
1. 交付対象事業の進捗状況																						
A 下水道事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考						
									H26	H27	H28	H29										
No.1 多摩川流域北多摩一号処理区（合流）																						
A-1-1	下水道	一般	小平市	直接	小平市	小川町一丁目都計道管渠整備	合流管 L=168m φ400～800	小平市	■	■	■	■	(12) 11	—	—							
小計												(12) 11										
No.2 荒川右岸東京流域荒川右岸処理区（分流水）																						
A-2-1	下水道	一般	小平市	直接	小平市	黒目川流域黒目川排水区雨水管渠整備（浸水対策）	雨水管 L=1,272m φ300～1350	小平市	■	■	■	■	(220) 220	—	—							
A-2-2	下水道	一般	小平市	直接	小平市	黒目川流域落合川排水区雨水管渠整備（浸水対策）	雨水管 L=352m φ400～1200	小平市	■	■	■	■	(59) 59	—	—							
A-2-3	下水道	一般	小平市	直接	小平市	石神井北部排水区雨水管渠整備（浸水対策）	雨水管 L=317m φ400～1000	小平市	■	■	■	■	(58) 58	—	—							
A-2-4	下水道	一般	小平市	直接	小平市	石神井南部排水区雨水管渠整備（浸水対策）	雨水管 L=191m φ600	小平市	■	■	■	■	(20) 19	—	—							
小計												(357) 356										
合計												(369) 367										
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考						
									H26	H27	H28	H29										
合計												(0) 0										
C 効果促進事業																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考								
									H26	H27	H28	H29										
No.1 多摩川流域北多摩一号処理区（合流）																						
C-1-1	下水道	一般	小平市	直接	小平市	小川町一丁目都計道管渠整備	合流管 L=505m φ250	小平市	■	■	■	■	(19) 18									
No.2 荒川右岸東京流域荒川右岸処理区（分流水）																						
C-2-3	下水道	一般	小平市	直接	小平市	石神井北部排水区雨水管渠整備（浸水対策）	雨水管 L=33m φ250	小平市	■	■	■	■	(2) 1									
合計												(21) 19										
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考										
C-1-1	基幹事業の管きよに接続する補助対象外の管きよを一体的に整備することで、安心して暮らせるまちづくりを行う。																					
C-2-3	基幹事業の管きよに接続する補助対象外の管きよを一体的に整備することで、都市浸水対策達成率を上げ、安全なまちづくりを行う。																					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）																						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考								
									H26	H27	H28	H29										
合計												(0) 0										

図2-1 社会資本総合整備計画（小平市公共下水道施設の整備）

【計画4】＜防災・安全交付金＞

社会資本総合整備計画事業評価書

平成30年 月 日

計画の名称	小平市公共下水道施設の防災・安全対策				重点配分対象の該当												
計画の期間	平成26年度～平成29年度（4年間）	交付対象	小平市														
計画の目標	下水道施設の地震対策及び長寿命化対策を行うことにより、市民が安心して暮らせる環境を目指す。																
計画の成果目標（定量的指標）	①耐震上重要な管路における小口径管渠の耐震化率を、37.8%（H26当初）から100%（H29末）に増加させる。 ②マンホールトイレ整備率を、0%（H26当初）から69%（H29末）に増加させる。 ③鈴木処理分区における本管の長寿命化対策実施率を、0%（H25当初）から47%（H29末）に増加させる。 ④鈴木処理分区におけるマンホール蓋改築実施率を、0%（H26当初）から15.4%（H29末）に増加させる。																
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考										
				当初現況値 （H26当初）	中間目標値 （H28末）	最終目標値 （H29末）											
①重要な幹線等における耐震化率 耐震化済み管路延長（km）／（H21～H25耐震化済み管路延長＋H26～H30耐震化計画管路延長）（km）（10.3km）				38%	100%	100%											
②マンホールトイレ整備率 マンホールトイレ整備箇所数（箇所）／マンホールトイレ整備計画箇所数（箇所）（39箇所）				0%	49%	69%											
③鈴木処理分区における本管の長寿命化対策実施率 長寿命化対策済み延長（km）／H28～H32長寿命化対策計画対策延長（km）（3.5km）				0%	21%	47%											
④鈴木処理分区におけるマンホール蓋改築実施率 マンホール蓋改築済み箇所数（箇所）／H28～H32マンホール蓋改築計画箇所数（箇所）（142箇所）				0%	15%	15%											
全体事業費	合計 （A＋B＋C＋D）	（381百万円） 376百万円	A	（373百万円） 369百万円	B	（0百万円） 0百万円	C	（8百万円） 7百万円	D	（0百万円） 0百万円	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C＋D）	（2.10%） 1.86%					
○事後評価の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制								事後評価の実施時期									
「小平市環境審議会」（学識経験者3名、事業者3名、市民公募5名、関係行政機関の職員1名、計12名）において実施								平成30年 月 日									
								公表の方法									
								市のホームページに掲載予定									
1. 交付対象事業の進捗状況																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
										H26	H27	H28	H29				
A-1-1	下水道	一般	小平市	直接	小平市	合流・分流汚水	管渠耐震事業（調査・設計）	耐震診断・設計、マンホールトイレ設計	小平市					（10） 10	—	策定済	下水道総合地震対策計画
A-1-3	下水道	一般	小平市	直接	小平市	合流・分流汚水	マンホールトイレ整備（地震対策）	27箇所	小平市					（151） 150	—	策定済	下水道総合地震対策計画
A-1-4	下水道	一般	小平市	直接	小平市	合流・分流汚水	長寿命化事業（管渠及びマンホール調査・設計）	調査、設計、計画策定	小平市					（62） 61	—	—	
A-1-5	下水道	一般	小平市	直接	小平市	合流・分流汚水	長寿命化事業（管渠改築）	鈴木処理分区 L=1.6km	小平市					（24） 23	—	策定済	下水道長寿命化計画
A-1-6	下水道	一般	小平市	直接	小平市	合流・分流汚水	長寿命化事業（マンホール蓋改築）	鈴木処理分区 22箇所	小平市					（8） 8	—	策定済	下水道長寿命化計画
A-1-7	下水道	一般	小平市	直接	小平市	合流・分流汚水	ストックマネジメント事業（管渠及びマンホール調査）	調査	小平市					（118） 117	—	—	下水道ストックマネジメント事業
合計														（373） 369		—	
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考	
									H26	H27	H28	H29					
合計														（0） 0			
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考		
										H26	H27	H28	H29				
C-1-1	下水道	一般	小平市	直接	—	改築	下水道BCP策定	下水道BCP策定	小平市					（8） 7			
合計														（8） 7			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
C-1-1	基幹事業で実施する下水道総合地震対策事業と合わせて下水道の業務継続計画（BCP）を策定することにより、災害時における減災・防災対策の向上を図る。																
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考			
									H26	H27	H28	H29					
合計														（0） 0			

図2-2 社会資本総合整備計画（小平市公共下水道施設の防災・安全対策）



### 3. 社会資本総合整備計画の事後評価について

#### (1) 事後評価の要領

小平市公共下水道事業に係る社会資本総合整備計画の事後評価は、国が示す考え方に基づき実施することとされています。

##### 【社会資本総合整備計画の事後評価の要領】

###### ○評価の内容

- ①交付金を充てた事業の進捗状況
- ②事業効果の発現状況
- ③評価指標の最終目標値の実現状況
- ④今後の方針

###### ○評価結果の公表等

評価結果を公表し、国土交通大臣に報告する。

#### (2) 事後評価手法

社会資本総合整備計画の事後評価は、国土交通省が示す考え方を参考とし、社会資本総合整備計画の成果目標と整備実績より、事業効果の発現状況及び成果目標の達成状況を定量的に表すものとします。

小平市公共下水道の社会資本総合整備計画の事後評価の手順は、図3-1に示すとおりです。

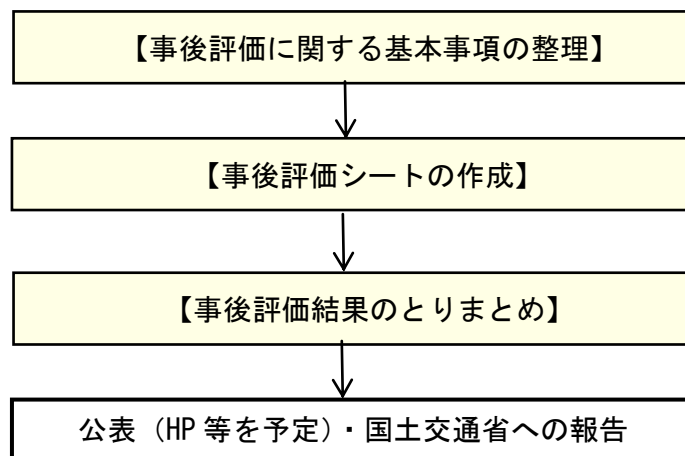


図3-1 小平市公共下水道の社会資本総合整備計画の事後評価の手順

### (3) 事後評価の結果

事業が終了している、【計画3】小平市公共下水道施設の整備、【計画4】小平市公共下水道施設の防災・安全対策の事後評価結果を以下に示します。

#### 【計画3】小平市公共下水道の整備

計画名称	小平市公共下水道の整備	計画期間	平成26年度～平成29年度（4年間）		
成果目標	① 下水道による都市浸水対策達成率の向上				
事後評価	定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況	浸水対策については、事業実施後、大雨時での対策箇所における道路冠水等の被害は確認されていない。			
		指標	最終目標値	最終実績値	目標値と実績値に差が出た要因
	定量的指標の達成状況	① 下水道による都市浸水対策達成率 対策済面積／市全域 2,046ha	73.7%	74.1%	合流管を含む雨水管の整備について、平成29年度末の最終目標値である73.7%（1,508.9ha）に対して、74.1%（1,516.55ha）の雨水管渠整備が完了し、目標を達成している。

【計画4】小平市公共下水道施設の防災・安全対策

計画名称	小平市公共下水道施設の防災・安全対策		計画期間	平成26年度～平成29年度（4年間）	
成果目標	① 重要な管路に対する地震対策実施率の向上 ② マンホールトイレ整備率の向上 ③ 鈴木処理分区における長寿命化対策率の向上 ④ 鈴木処理分区におけるマンホール蓋改築実施率の向上				
事後評価	定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>重要な幹線等における耐震化については、事業実施後、地震等による被害は確認されていない。</li> <li>マンホールトイレ整備については、市内避難所39箇所のうち、平成29年度末までに27箇所の整備が完了しており、約7割の避難所で被災時のトイレ機能を確保している。</li> <li>鈴木処理分区における本管の長寿命化対策工事は、平成32年度末までの対策量のうち、平成29年度までに約半数の対策を完了しており、本管の老朽化による道路陥没等の予防保全に対応している。</li> <li>鈴木処理分区におけるマンホール蓋の改築（更新）工事は、平成32年度末までの対策量のうち、平成29年度までに15%の対策を完了しており、マンホール蓋に起因する沿道の騒音・振動に被害やスリップ事故等の予防保全に対応している。</li> </ul>		
		指標	最終目標値	最終実績値	目標値と実績値に差が出た要因
		①耐震対策実施率 対策済延長／計画延長 10.30km	100%	100%	「小平市下水道総合地震対策計画」における重要な幹線等の耐震化について、I期計画分の3.90km（計画期間H21～H25）については平成24年度までに事業を完了し、II期計画分の6.40km（H26～H30）については、H26に実施した耐震診断調査により対象路線全線で耐震性を有していることを確認したため、目標を達成した。
		②マンホールトイレ整備率 整備済施設／計画39施設	69%	69%	マンホールトイレについては、平成30年度までに市内全避難所39箇所に設置することとしており、平成29年度末までに27箇所の整備を完了したため、マンホールトイレ整備率の最終目標値である69%を達成している。
		③鈴木処理分区における本管の長寿命化対策実施率 対策済延長／計画延長 3.47km	47%	47%	「小平市下水道長寿命化計画（鈴木処理分区）」に基づく鈴木処理分区における本管の長寿命化対策工事について、計画事業量3.47kmに対し、平成29年度末までに1.63kmの工事を完了しており、鈴木処理分区における本管の長寿命化対策実施率の最終目標値である47%を達成している。
	④鈴木処理分区におけるマンホール蓋の改築実施率 対策済箇所／計画142箇所	15%	15%	「小平市下水道長寿命化計画（鈴木処理分区）」に基づく鈴木処理分区におけるマンホール蓋の改築（更新）について、計画事業量142箇所に対し、平成29年度末までに22箇所の更新を完了しており、鈴木処理分区におけるマンホール蓋改築実施率の最終目標値である15%を達成している。	